京都国立近代美術館
パンフレット

はじめに

京都国立近代美術館の楽しみ方を集めました。

作品鑑賞だけでなく、カフェやロビーで
くつろぐといったこともできますので、
ぜひご活用ください。このパンフレットが
京都国立近代美術館に足を運んでいただく
きっかけになれば幸いです。みなさまの
お越しを、心からお待ちしています。

京都国立近代美術館
〒６０６－８３４４
京都府京都市左京区岡崎円勝寺町２６－１
ＴＥＬ ０７５（７６１）４１１１
https:www.momak.go.jp

第１版　２０１８年１月
第２版　２０２０年４月

目次

１．京都国立近代美術館とは・・・・・・・　１
２．さわって楽しむ建築と屋外彫刻・・・・　６
３．琵琶湖疏水に面したカフェ・・・・・・　９
〔フロア図〕・・・・・・・・・・・・・・・　１０
４．魅力あふれる岡崎公園・・・・・・・　１４
５．開館・チケット情報とバリアフリー
　　案内・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
６．美術館に行くには（交通情報）・・・　２２
〔周辺案内図〕・・・・・・・・・・・・・・　２４

１．京都国立近代美術館とは

（１）当館のフロア

平安神宮の参道と琵琶湖疏水に面した、緑豊かな岡崎公園内にある京都国立近代美術館。その歴史は、１９６３年（昭和３８年）に国立近代美術館の京都分館として設置されたことにはじまります。現在の建物は、１９８６年に建築家・槇文彦の設計によって建てられたものです。

では、館内を紹介します。１０ページのフロア図もご参照ください。1階はどなたでも利用できる無料ゾーンです。エントランスを入って、すぐ右手にはインフォメーションとミュージアムショップ、左手にカフェがあります。その奥には幅３０メートルに伸びるロビー。ロビーは、琵琶湖疏水に面し、壁一面の大きなガラス窓を通して、春には満開の桜を

楽しめるなど、季節の移ろいを感じることができる場所です。

　展示室は、二つに分かれています。毎回違うテーマの企画展が開催される３階企画展示室。当館のコレクションを展示する、４階コレクション・ギャラリー。どちらの展示室も、ロの字型の回廊式で、会場をぐるりと一周歩くと展覧会の全体を体験できます。

（２）コレクション

　当館は、関西や西日本という地域性を意識しながら、工芸から日本画、洋画、西洋絵画、写真、現代美術へと、その対象を拡げながら、コレクションの形成を行ってきました。例えば、竹内栖鳳や土田麦僊らの日本画。須田国太郎、安井曾太郎らの洋画。また、パブロ・ピカソ、アンリ・マティスなどの西洋絵画。さらには、

近現代の陶芸や染織にいたるまで、幅広い
コレクションを有しています。こうした
作品の一部を、毎回テーマを決めながら、
４階コレクション・ギャラリーにて紹介して
います。現在の収蔵作品数は１万点を超え、
日々こうした美術作品を大切に守っています。

（３）特別展・企画展

年間４から６本の特別展・企画展を実施して
います。なかでも、京都を中心として活躍をした
作家や芸術運動を取り上げ、京都から全国へと
発信しています。

また、展覧会と連動して、講演会や映画上映、
ワークショップなども行っています。

（４）鑑賞を深める対話

展示室は、本物の作品に出会える場所です。じっくりと作品と向き合えるよう、静かな環境を保っています。ですが、一緒に来た方と、作品について思ったことや感じたことを話し合うと、自分とは違う価値観や感じ方にふれることができます。それも、鑑賞の醍醐味です。周りの方への配慮をしつつ、ぜひ作品について語り合ってみてください。

★対話のヒント

　対話のなかに思いがけない新たな発見があったり、忘れていた感情を思い出したりするかもしれません。

　それは・・・

・どれくらいの大きさですか。
　どんな形をしていますか。

・タイトルから、どんなイメージを
　思い浮かべますか。

・どんな素材が使われていますか。
　どんな手触りがしそうでしょうか。

・作品から、なにか音が聞こえてきそうですか。
　匂いがしてきそうですか。

・絵の中に入ったら、どんな感じが
　しそうですか。

２．さわって楽しむ建築と屋外彫刻

（１）近代的な美術館の建築

京都国立近代美術館の建物は、ガラスと石とアルミニウムが組み合わされた、現代的な印象を与える外観です。この建物は、１９８６年（昭和６１年）に建築家・槇文彦の設計によって建てられました。その外観を特徴づけるのは、全面に張られた御影石と呼ばれるグレーの石でしょう。御影石は、その加工によって、ざらざら・つるつるなど、様々な肌理（きめ）を生み出すことができます。また、館内の手すりには、丸、三角、四角を組み合わせた意匠が施されています。さわりながら、こうした意匠を見つけてみるのも面白いかもしれません。また、建物正面に貼られた御影石は、格子状に配置されていますが、これは京都の「碁盤の目」が意識されたデザインと言われています。

（２）屋外彫刻と家具

美術館の屋外にも、美術作品が設置されています。全部で７作品あり、その素材は、金属や石などさまざまです。敷地の北側に設置されている、山口牧生氏による《股間の鳥－サドル》（１９７４年制作）は、近づいてさわることのできる作品のひとつです。自転車のサドルを模した、両腕をひろげたくらいの大きな石の彫刻です。石ではありますが、さわってみると、サドルのようにやわらかい曲面が感じられると思います。もちろん、またがってみてもかまいません。

ロビーの椅子にも、ぜひご注目ください。ロビーには２種類の椅子が置かれていて、自由にお座りいただけます。《ＬＣ１》と《キャブ・チェア》という名前のついた椅子です。

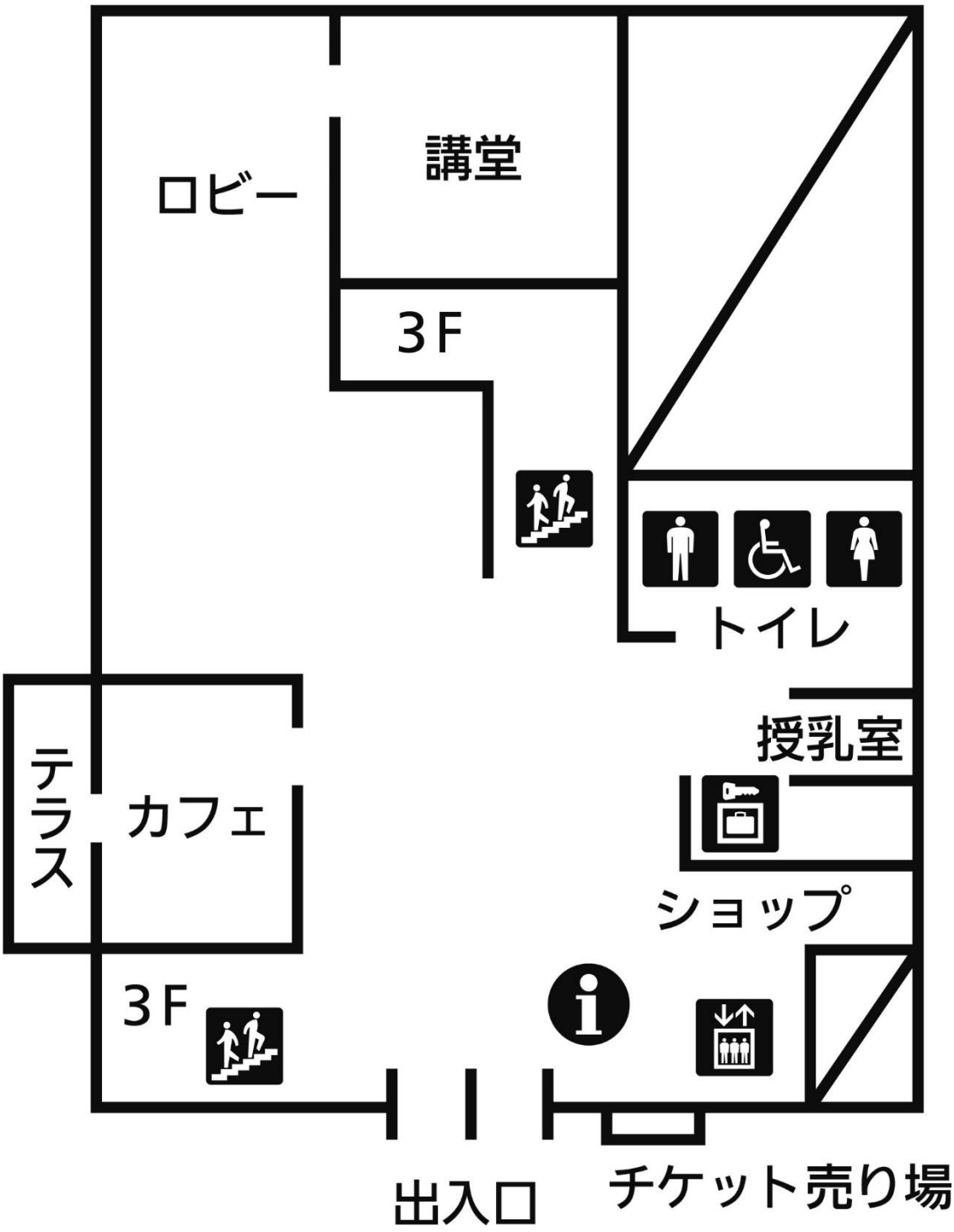
《ＬＣ１》は、建築家ル・コルビュジエと、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアンの３人がデザインした椅子です。姿勢にあわせて背もたれが角度を自由に変える、人間工学に基づいたデザインです。《キャブ・チェア》は、イタリア人建築家、マリオ・ベリーニのデザインです。金属のスケルトンの骨組みに、革をかぶせ、その張りがクッションになっている椅子です。

３．琵琶湖疏水に面したカフェ

　美術鑑賞や岡崎公園の散策に疲れたら、
館内のカフェでゆったりした時間を過ごすのは
いかがでしょうか。琵琶湖疏水に面したオープン
テラスで、風を感じながら、また春には満開の
桜を愛でながら、おしゃべりを楽しむのも
いいでしょう。
　カフェではスイーツやドリンク、それに
京都らしさをとりいれた一皿を味わうことも
できます。季節や展覧会に合わせた
特別メニューも用意しています。
　カフェでは点字や拡大文字によるメニューも
用意しています。メニューについてもっと
知りたければ、ぜひ遠慮なくスタッフまで
お声かけください。もちろん、美術館に来て
カフェを楽しむだけでもＯＫです。どうぞ
気軽にご利用ください。

〔フロア図〕

「１階　エントランス」



男子トイレ

女子トイレ

多目的トイレ

階段

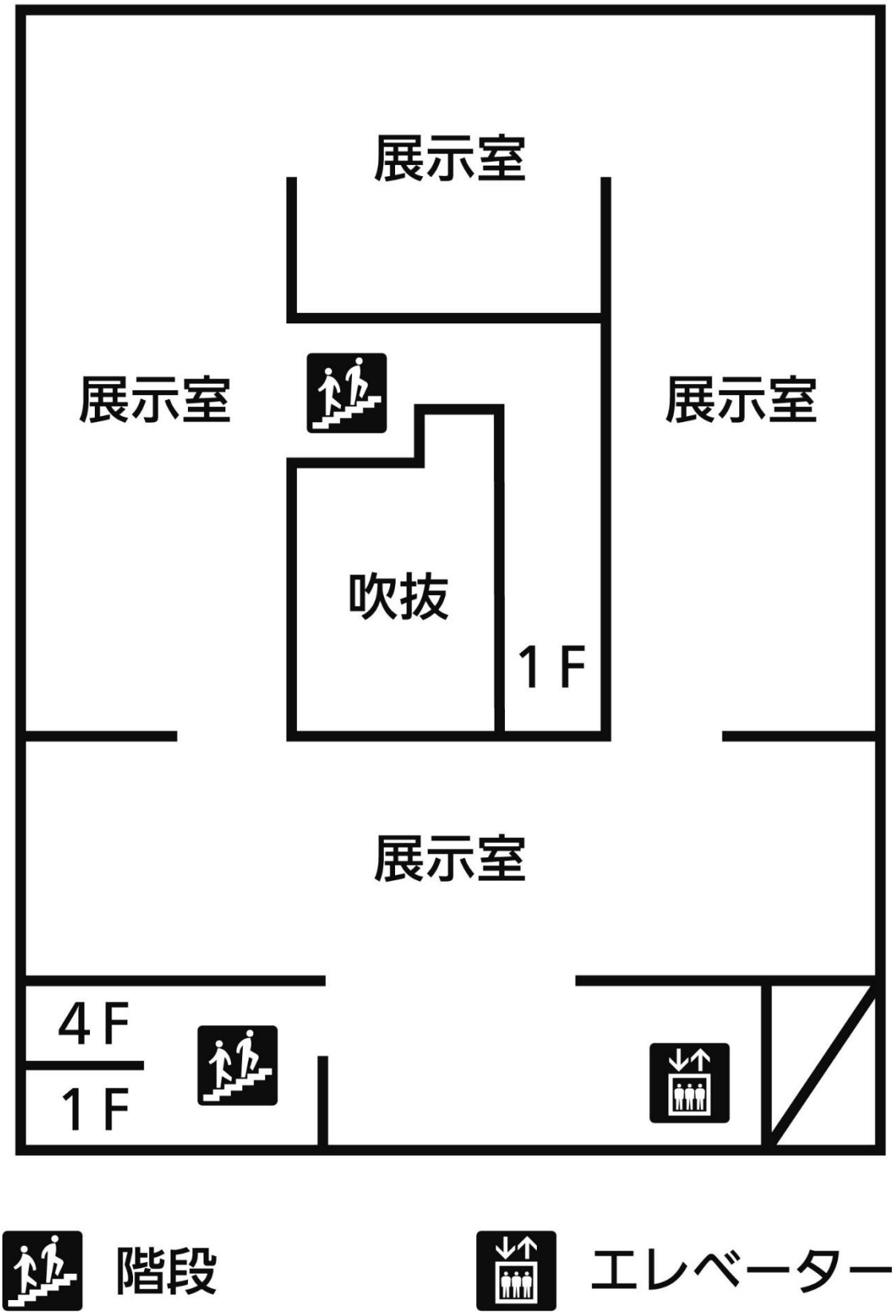
エレベーター

ロッカー（無料）

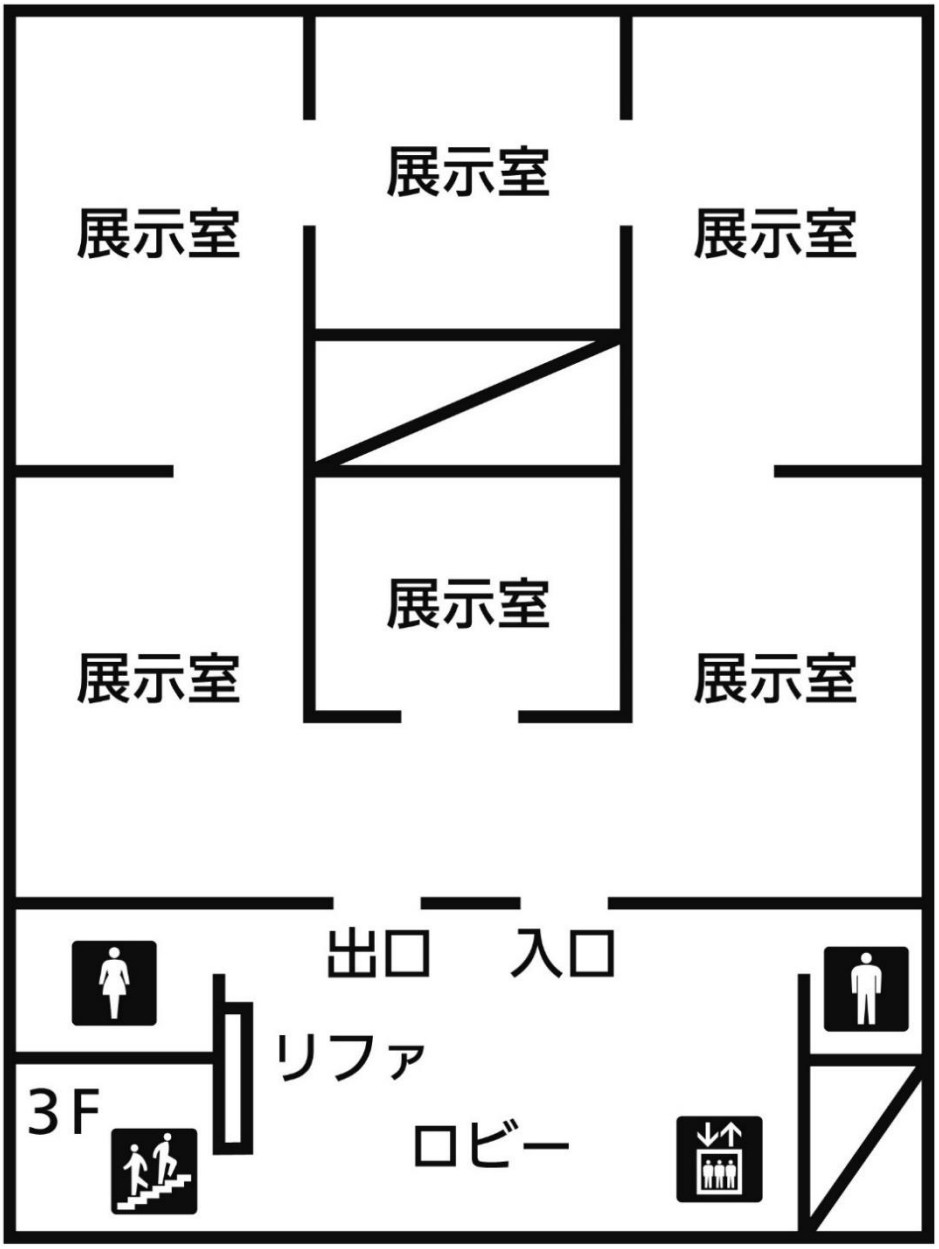
インフォメーション

ショップ　・・・　ミュージアム・ショップ

「３階　企画展示室」



「４階　コレクション・ギャラリー」



男子トイレ　　エレベーター

女子トイレ　　リファ　・・・
リファレンス・コーナー

階段

４．魅力あふれる岡崎公園

京都国立近代美術館のある岡崎公園一帯は、江戸時代まで藩の屋敷や田畑がありましたが、１８９５年（明治２８年）の平安遷都千百年紀年祭を機に、京都の文化エリアとして大きな変貌を遂げました。周辺案内図を２４ページにのせていますので、岡崎散策の参考にしてください。

（１）平安神宮

平安遷都千百年を記念して、１８９５年（明治２８年）に創建されました。設計には、平安時代の風俗が描かれた絵巻である《年中行事絵巻》を参考にしたと言われています。当館の前に位置する大鳥居は、この神社のもので、岡崎公園はこの参道を軸に広がっています。

（２）ロームシアター京都

オペラやコンサートなどを楽しむことができる多目的ホールです。建築家・前川國男氏の設計で、京都会館として長く親しまれてきましたが、２０１６年（平成２８年）に大規模なリニューアルを終え、３つのホールと書店、レストランなどを有する施設に生まれ変わりました。

（３）京都市京セラ美術館

開館は１９３３年（昭和８年）で、昭和天皇即位の礼を記念して設立された美術館です。明治以降の京都を中心とした美術品や工芸品をコレクションしています。２０２０年（令和2年）のリニューアルで、現代アート展等を行う新館（東山キューブ）が誕生しました。

（４）京都市勧業館みやこめっせ

明治から度々おこなわれた博覧会の会場となり、現在の建物は、平安建都１２００年記念事業の一環として建設され、１９９６年（平成８年）７月に開館した「３代目」勧業館です。京都における展示会・商談会の拠点として、また、文化・芸術催事や学術会議、成人式や大学の入学式・卒業式会場など、多用途に利用できる施設として、年間１３０万人の人々が訪れています。

（５）京都伝統産業ミュージアム

みやこめっせの地下１階にある展示施設です。京都の伝統的工芸品７４品目約５００点が一堂に集められ、体系的に紹介されています。すべてに点字による解説パネルも設置されています。

（６）京都市動物園

１９０３年（明治３６年）に日本で二番目に出来た動物園です。山口華楊や木島桜谷ら、京都の日本画家は、この動物園に通い写生に励んでいました。なお、ツシマヤマネコをはじめとした絶滅危惧種の繁殖にも力をいれています。

（７）京都府立図書館

京都国立近代美術館の隣に建つのが京都府立図書館です。歴史は古く、１８７３年（明治６年）設立の京都集書院がその前身です。蔵書数は、１２０万冊以上を誇ります。館内には、点字資料や音声資料、また対面朗読室などもあります。

（８）細見美術館

細見家三代のコレクションを中心に四季折々のテーマで企画展を開催する美術館で、１９９８年（平成１０年）に開館しました。平安・鎌倉時代の仏画や、琳派や伊藤若冲などの江戸時代の絵画を多く所蔵しています。

岡崎公園では、毎日のようにいろんな所でイベントが行われています。このパンフレットにも、周辺案内図をのせていますが、不明な点がありましたら、遠慮なく当館１階のインフォメーションでお尋ねください。当館が岡崎めぐりの手助けをできれば幸いです。

５．開館・チケット情報とバリアフリー案内

休館日

毎週月曜日（月曜日が休日に当たる場合は、翌日が休館）と年末年始

展示替え期間中に休館することがあります。休館日については、お問い合わせいただくか、当館ウェブサイトでご確認ください。

https://www.momak.go.jp/

開館時間

【通常時間】午前９時３０分～午後５時
（入館は午後４時３０分まで）

【夜間開館】毎週金曜日、土曜日
午前９時３０分～午後８時
（入館は午後７時３０分まで）

観覧料

企画展の観覧料は展覧会によって異なります。

企画展の観覧券でコレクション展も
観覧いただけます。

【コレクション展観覧料】

一般　４３０（２２０）円

大学生　１３０（７０）円

※（ ）内は２０名以上の団体料金。

高校生以下と１８歳未満、６５歳以上、
心身に障害のある方とその付添者１名は
無料で観覧できます。証明となる手帳等を
受付窓口でご提示ください。

【コレクション展夜間割引】

一般　２２０円

大学生　７０円

午後５時以降にコレクション展観覧券をご購入、入場される方に夜間割引を実施しています。観覧券のご購入、入場は閉館の３０分前までです。

バリアフリー情報

・盲導犬、介助犬、聴導犬を伴ってご入館いただけます。
・入口にインターフォンを設置しています。
・出入口にスロープを設置しています。
・エレベーターには音声案内を設置しています。
・多目的トイレは１階にあります。

６．美術館に行くには（交通情報）

当館にお越しの際、公共交通機関は地下鉄かバスが便利です。

地下鉄

京都市営地下鉄東西線の東山駅から徒歩約１０分です。１番出口を出て左手（東）に進むと神宮道という通りに交差します。この道を左手（北）にまっすぐ５分ほど歩くと、大きな鳥居の所、道の左手に美術館があります。

バス

美術館の前には、「岡崎公園　美術館・平安神宮前」のバス停があります。
このバス停には、京都駅から京都市バス５番か１００番（急行）、四条河原町から５番か４６番で向かうことができます。

美術館の前まで着いたら
美術館正面の歩道には、バス停を表す
点字ブロックが敷設されています。
点字ブロックの所から美術館の敷地内に
入ると、目の前に入口があります。また、
点字ブロックから歩道を２０メートルほど
北へ進むと、インターフォンがあります。
日中は、「ピーンポーン」とチャイムが鳴って
います。インターフォンを押していただくと、
係の者が迎えに行くこともできますので、
遠慮なくご利用ください。

ご不明な点がございましたら、以下まで
お問い合わせ下さい。
ＴＥＬ ０７５（７６１）４１１１

〔周辺案内図〕

N
平安神宮
細見
美術館
ロームシアター
京都
岡崎公園
駐車場
二条通
京都府立
図書館
みやこ
めっせ
京都市
京セラ
美術館
京都市
動物園
京都国立
近代美術館
仁王門通
神宮道
岡崎通
地下鉄東山駅１番出口
三条通

本パンフレットは、「感覚をひらく―
新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業」
［平成２９年度　文化庁 地域の核となる
美術館・歴史博物館支援事業］の一環として
発行したものです。

©京都国立近代美術館　無断転載厳禁